NIE実践報告

１．タイトル：新聞を通して社会と自分について考える

２．学校名

新潟県立佐渡高等学校

３．実践者名（代表者名）

中野　理恵

４．学年

３学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合学習

６．単元（本時の学習課題）名

総合学習「セルフチャレンジ」の中での新聞スクラップ

７．目標(狙い)

新聞を通して社会的事象に関心を持ち，自分と社会のかかわりについて考える。
進路に関わる新聞記事をスクラップし，小論文作成に活かす。

８．評価の視点

自分の学問領域・研究テーマに沿って新聞記事を選び，記事について自分なりの意見を持つことができたか。
自分の進む学問領域・研究テーマについての理解が深まったか。新聞スクラップを通して得た知識を小論文に活用できている。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

総合的な学習の時間（セルフチャレンジプラン）　年間３６時間
新聞スクラップは７月～１１月，毎月1枚を課題とした（自宅学習）。９月以降は自由提出とした。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・新聞の無償配置が行われた７，９～１１月の4ヶ月間，新聞スクラップに取り組んだ。
・７，８月は全員提出，９月以降は自由提出とした。
・スクラップする際は，原則として総合学習で取り組む小論文のテーマに関するものとしたが，関連する記事が見つからない場合は，自分の興味・関心に応じて選んでよいこととした。
・毎月はじめに配布されるスクラップ用紙に新聞記事を張り，要約（100字），意見・感想（200字）を書いて提出させた。
・クラスに配置された新聞は，当日のもの以外スクラップ可能とした。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞スクラップについては昨年度と同様に行ったため，記事選びや意見の記述にも慣れてきた様子があった。大学入試の面接・小論文対策のため，自由提出になってからも，自主的にノートにまとめるなど，継続して取り組む生徒が多かった。

12．成果と課題

新聞スクラップに関しては，受験勉強との兼ね合いも考え，９月以降はそれぞれの進路に応じて自由に取り組む形になった。そのため，生徒によって取り組み方に差が出てしまったように思う。新聞を読む面白さを知り，積極的に読むようになった生徒がいる一方で，読むのをやめてしまう生徒もいた。新聞を読む習慣をきちんと身につけさせるためには，やはり継続的な取り組みが必要であり，コツコツと続けられる工夫が必要であると感じた。